

会議の実施日時	令和5年2月22日 14:00~14:35 令和4年度第4回
報告事項1 (地域医療構想について)	
○ 事務局より、今後の地域医療構想の取組方針について説明 <ul style="list-style-type: none">・ 2025年度までの取組・ 2025年度以降の対応・ 今後のスケジュール 《質問・意見等》 特になし。	
報告事項2 (地域医療構想に係る対応方針(プラン)作成について)	
○ 事務局より、地域医療構想に係る対応方針(プラン)作成の状況について説明 <ul style="list-style-type: none">・ 各医療機関への依頼状況・ 圏域における現状と課題の整理内容・ 今後の予定 《質問・意見等》 特になし。	
報告事項3 (外来機能報告について)	
○ 事務局より、外来機能報告のスケジュールの変更について説明 <ul style="list-style-type: none">・ 報告期間の延期・ 報告期間延期に伴う各対応スケジュールの変更 《質問・意見等》 特になし。	
報告事項4 (医療機能別病床割合分析について)	
○ 事務局より、医療機能別病床割合分析に係る第3回調整会議説明後の動向について説明 <ul style="list-style-type: none">・ 意見・質問事項に対する対応状況・ 今後の予定 《質問・意見等》 特になし。	
報告事項5 (高度医療・人材育成拠点基本構想について)	
○ 事務局より、高度医療・人材育成拠点基本構想の概要について説明 <ul style="list-style-type: none">・ 基本構想の位置付け、目指す姿・ 医療機関の再編計画・ 高度医療拠点(新病院)、人材育成拠点の概要・ 整備スケジュール 《質問・意見等》 【安芸地区医師会青木委員】 <ul style="list-style-type: none">・ 基本構想の各会議の委員をみると、呉地区をはじめその他の地区のメンバーは入っていない。呉地域で話をしても意味がないように感じるが、どう考えているのか。	

【事務局】

- ・ 現状では、圏域の声を直接上げていく場は設けられていないが、再編の影響が予想される地域の医療体制については、地域や有識者の意見を聴きながら対応を進めることとされている。

今のところ、これからどういう形で進められるかについての具体的な情報はないが、今後圏域に係る意見集約もされていくものと考えている。

【医療介護政策課】

- ・ 1000床構想ができるに当たり、他の圏域への影響もあるということによく言われている。いただいた意見について、担当課に伝えていく。

【安芸地区医師会青木委員】

- ・ 高度医療・人材育成ということであり、他の全ての病院にも関わることである。呉地域をはじめ他の地域の意見も考慮して審議していただくようお願いしたい。

【中国労災病院栗栖委員】

- ・ 目指す姿に「全国トップレベルの高い水準の医療と患者の状態に応じた切れ目のない医療を提供する。」とある。

構想では、高度な急性期の病院が中心に描かれているが、急性期を脱した後の回復期・慢性期の流れや施設について、いつの段階で具体的な検討を行い、本当の意味での切れ目のない医療についてのディスカッションができるようになるのか。

現在の説明では、急性期の体制が中心になっているように思えるが、その後の切れ目のない医療については、どこでどういうグループ又は医療機関が加わって体制を作っていく形になるのか。

【医療介護政策課】

- ・ 舟入市民病院や、広島記念病院等において、急性期の一部を回復期へ転換の検討を考えられており、現在関係病院で協議中と聞いている。

この段階で各病院の意見を聞きながら、早い時期に役割分担を決めたいということで動いていると聞いている。

【中国労災病院栗栖委員】

- ・ 全体のタイムスケジュールの中で検討が進んでいくものと思われるが、今上げられている施設だけで本当に対応できるのかどうか、周辺の圏域の医療機関への影響はどうなるのかといった課題も出てくるのではないかと。

【医療介護政策課】

- ・ 確かに周辺の病院も役割分担等、必ず関わってくると思われる。担当課にも今いただいた意見を伝えていく。

【玉木会長】

- ・ 栗栖委員が言われたように、新病院の位置付け・目指す姿だけが先走りしているのはいじめないと感じる。広島圏域の病院としてこういったアドバルーンを上げているが、県内の他の二次医療圏はどうなるのか、どういう影響があるのかないのかといったことが見えてこない。また、今の地域医療構想の中での広島圏域の病床の配分がどうなるのかということも見えてこない。

新病院を立ち上げるにあたっては、地域医療構想の中での役割について、近隣の圏域として、呉だけでなく広島中央や西広島もあるので、再編病院の中だけで急性期の後の回復期が賄えるのかどうかといったことも含めて、県で示していただきたい。

【中国労災病院栗栖委員】

- ・ これだけ大きな規模で動かしていくとなれば、実際の人動きを考えると、背景人口200万ぐらいの規模を考えて動くということも、一つの大きな指標となるのではないか。
　　そうすると地域の拡大ということも認識した上で、その地域の医療機関の協力を盛り込んだ形での構想にならないといけないのではないか。